

# 教育資源と学力の関係

篠崎武久<sup>‡</sup>

## 要旨

本稿は2007年4月に文部科学省が実施した「全国学力・学習状況調査」のデータを用いて、学校に配置される物的資源、人的資源などの教育資源と各学校の学力との関係を検証した。換言すれば、ある一時点において観察される各学校の学力の高低や学力のばらつきを、教育資源の多寡によって説明できるのかについて計量分析から明らかにした。

ITC 設備や図書整備の状況など物的資源の多寡は各学校の学力の高低や学力のばらつきと有意な関係にない。人的資源に関する変数では、一部の教育研修の大小が学力の高低と有意に正の関係にあり、また教員の平均年齢や学級規模などが学力の高低や学力のばらつきと有意な関係を持つ場合がある。校長の裁量の程度など学校運営に関する変数群は学力の高低やばらつきとは有意な関係にない。物的資源や学校運営に関する要因の大小が学力の高低と有意な関係を持たないことが、数多くの欧米の実証研究において明らかにされているが、日本においてもほぼ同様の関係を確認することができる。今後、複数時点のデータを用い、推定方法を変更しても同様の結果が得られるかどうかを検証することが重要な課題となる。

キーワード：教育資源、学力

JEL Classification: I20, I21, I28

---

<sup>‡</sup> 早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 知財・産業社会政策領域  
〒169-8555 東京都新宿区大久保 3-4-1 早稲田大学理工学術院 51号館 4階 01B室  
shinozakiATwaseda.jp (ATを@に変換してください)